

# かみにんぎょう



## かみにんぎょう

---

「おとしはいくつ」

そうたずねられると、なっちゃんは指を三本、はずかしそうにそろえます。くるっとした目をちょっとふせて、ふっくらほっぺがピンクにそまります。

それから、ママを見上げてぴよんぴよんはねます。すると、色ゴムでとめられた髪もぴよんぴよんはねます。

なっちゃんは、おどりが大好きです。日本舞踊だから着物を着ておどります。ママのおけいこについていくうちに、しぜんとまねをしておどるようになりました。小さなぶたいで、ママといっしょにおきやくさまの前でおどったこともあります。

おけいこをしているへやはとっても広くて、かべが全部かがみになっています。そこで、大きなお姉さんたちとおどります。

なっちゃんは、アンパンマンが大好きで、おでかけのときには、いつもひとさしゆびくらいのアンパンマン人形をにぎって行きます。だから、おけいこもアンパンマンといっしょです。

八月のはじめのおけいこは、黄色の地に赤いきんぎよのもよりのゆかた、赤いおび、かみどめは黄色のゴムです。ママが扇を持てば、なっちゃんも持ちます。それをじょうずに開きます。ママがかさを持てば、なっちゃんも持って、くるくるまわします。いつもずっとママと同じようにします。

一つ曲がおわりました。さあ、お休みのじかんです。なっちゃんは、アンパンマンのすいとうからゴックンゴックンお茶をのみます。ひとりのお姉さんが、おやつにワッフルを持ってきてくれました。

「わあ、おいしそう。なっちゃん、どれにする」

箱のふたを開けたママがたずねます。なっちゃんは、ちょっとしんばいそうにママの顔を見つめます。

「だいじょうぶよ。これは中には何も入ってないのよ」

にっこりしているママを見て、安心したなっちゃんは、バターのついたワッフルをほおぼりました。アンパンマンは大好きだけれど、アンパンは大きらいなのです。それにはこういうわけがあるのです。

二才のとき、初もうでに行って、おいしそうなおいのするたいやきを買ってもらいました。うれしくて、おしっぽをガブツとかじりました。

そのとたん、なみだがあふれました。

「うわーん、うんちがでてきたあ」

びっくりしたママが、

「これはあんこなのよ。おいしいの」

いくらなだめてもなきやみませんでした。それから、アンパンだけでなく、パンでもクッキーでも、中からクリームやジャムなどが出てくると、ないてしまいます。このごろは、こわご

わちよっぴり食べるようになりましたが。

さて、ワッフルをきげんよく食べ終えたなっちゃんはかけだしました。

ステーン

「うわーん」

大きな声がひびきます。なっちゃんは、ゆかにおでこをくっつけて、手と足をバタバタさせて、おもいきりなきいます。おけいこのとき、一度はかならずなくのです。

十月になりました。なっちゃんはあたらしい着物をぬってもらいました。紺色の地に赤青のかすりもよう、おそでもずいぶん長くなりました。なっちゃんは、四才になったのです。

しゃみせんの音に続いてゆったりとした歌が流れてきました。今おけいこしているのは、『紙人形』というおどりです。外であそんでいた紙人形がぬれてこまっていますという、みじかい曲です。

手をそでに入れて人形のようにすり足で歩きます。いやいやして首をふります。腕をかざしてしっかり指先を見ます。

ずっとママとおどっていましたが、今日はひとりです。今までは途中でやめていましたが、うんとがんばって、おしまいまでおどれました。三回もおけいこしました。来月には、ひとりで舞台にあがるのです。

先生が やさしくなっちゃんのあたまをなでてくれました。

「がんばりましたねえ。とつてもじょうずにおどれましたよ。ではまた来週ね」

先生とお姉さんたちに、きちんとせいざしておじぎをしました。

「ありがとうございました」

あつ、今日のおけいこでは、一度もなきませんでした。

なっちゃんは、春には、おねえちゃんになるのです。ママのおなかにいる赤ちゃんをあえるのがたのしみです。そうしたら、アンパンマンのお人形を赤ちゃんにあげようと思っています。